

シカ・イノシシの捕獲推進のための技術と体制

Methods and a System to Control Sika Deer and Wild Boar Populations

兵庫県森林動物研究センター 研究部 編集



兵庫県森林動物研究センター
兵庫 ワイルドライフモノグラフ 7 号

Wildlife Management Research Center, Hyogo
Wildlife Monograph of Hyogo, No.7



警戒しながらも、わなに入ろうとするシカ



シカの銃猟



順番に囲いわなに入るイノシシ (AI ゲート)



囲いわなで群れごと捕獲されたシカ



くくりわなにかかったイノシシの保定
くくりわなで前足をくぐられたイノシシの
鼻か首を保定具で保定して止め刺しを行う。

はじめに

兵庫県森林動物研究センターは、ワイルドライフマネジメントに係わる研究成果を広く市民の方々に知っていただくことを目的として、平成 20 年度から毎年「兵庫ワイルドライフモノグラフ」を刊行しています。本年度は第 7 号「シカ・イノシシの捕獲推進のための技術と体制」を刊行します。

全国的にシカ、イノシシ等の被害が増加しており、地域社会にとってその対策を講じることが喫緊の課題になっていますが、これらの動物は高度な知的能力を有していますので、捕獲や忌避することは決して容易ではありません。またこれらの動物は、農村部における農業被害や都市部における生活被害をもたらす害獣という側面だけでなく、すでにイノシシがそうであるように、地域の貴重な食肉資源としての側面を有しており、シカについても各地で食肉や皮革資源としての活用が試みられています。

しかし大型野生動物の捕獲には、とくに箱わなや囲いわなを使用する場合には、土地所有者の許可や地元の合意形成が必要ですし、経験の少ない地域住民にとっては、わなの設置や餌付けの方法、殺処分や死体処理についての知識の集積が不可欠です。

本モノグラフでは、兵庫県のシカ・イノシシ被害対策の現状と最新の動向に始まり、箱わな・囲いわなの活用事例の紹介、とくに参加集落の捕獲班や指導に当たられた市町や農林事務所等の役割など、集落ぐるみの対策の成果や今後の課題を詳細に報告しております。集落で運用しているシカ・イノシシ被害対策わなは、兵庫県内だけでも 3165 基にのぼっており、多くの住民が参画されたことがわかります。また捕獲技術不足などの課題が存在することが明らかになり、今後の対策の重点事項です。

さらに今後の人材育成については、銃猟とわな猟において中核的な役割を担う鳥獣害対策マイスター育成について、但馬県民局の過去 5 年間の取り組みを検証し、その成果を紹介しています。

最後になりましたが、「兵庫ワイルドライフモノグラフ」は、編集委員会が毎年設定するテーマに沿って執筆された論文等をモノグラフとして編集しております。詳細につきましては、投稿規定をご参照ください。みなさまのご投稿をお待ちしております。

編集委員長 林 良博

目 次

第1章 兵庫県のシカ・イノシシ被害対策の現状と最新の動向	1
田口 彰	
1-1 はじめに	1
1-2 兵庫県におけるシカ・イノシシ被害対策の現状	2
1-3 最新の動向	6
第2章 兵庫県におけるシカ・イノシシの箱わな・囲いわなの活用の現状	7
松本 崇・本間 淳・坂田宏志	
2-1 はじめに	7
2-2 方法	8
2-3 結果	10
2-4 まとめ	16
第3章 但馬地域における3年間の箱わな・囲いわなによる捕獲技術指導の成果	17
上田剛平・阿部 豪・坂田宏志	
3-1 はじめに	17
3-2 大作戦の概要	18
3-3 大作戦の成果と課題	20
第4章 銃猟に関する人材育成 ―鳥獣害対策マイスター育成スクール5年間の成果―	27
上田剛平	
4-1 はじめに	27
4-2 スクールの概要	28
4-3 卒業後のフォローアップと活動状況	35
第5章 集落柵開口部からのシカ侵入防止対策としての捕獲の効果	39
阿部 豪・坂田宏志・豊田 鮎	
5-1 はじめに	39
5-2 調査の方法	40
5-3 結果	44
5-4 考察	47

第6章	集落が管理するわなの捕獲効率向上へのとりくみ	49
	加藤栄里奈・阿部 豪・松本 崇・西住真則・坂田宏志	
6-1	はじめに	50
6-2	事業の概要	50
6-3	事業の成果	55
6-4	更なる捕獲効率向上へのとりくみ	58
6-5	考察	60
第7章	箱わな・困いわなの効率的な運用に向けた改善指導時期の検討	63
	大前有希・加藤栄里奈・阿部 豪・坂田宏志	
7-1	はじめに	63
7-2	方法	64
7-3	結果	65
7-4	考察	67
第8章	わなによるシカ・イノシシ捕獲の体制構築と支援	73
	永田久明・草間謙一・加藤栄里奈・阿部 豪・坂田宏志	
8-1	はじめに	73
8-2	捕獲作業の実施主体と捕獲頭数の関係	74
8-3	役割分担に関する問題点の整理	76
8-4	地域の有害捕獲チームの立ち上げを支援した事例	78
8-5	捕獲補助者の活動を支援する体制の構築を牽引した事例	81
8-6	考察	82